



政治が甘えを持つことの怖さ

令和7年7月4日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

政治は国家の安全と国民の生活へのすべての責任を自己に有するものである。その政治が甘えを持つことは、他への依存性を行うことであり、それは否定される。

この厳しさが正しい政治の姿なのである。そして初めて現実を正しく与えることができるのである。

これらは、依存性という現実への警鐘であり、自立と独立という国家の要求は自己においてそれを求められるのである。

これらはその現実において大衆迎合政治への警鐘も与えるものである。政治は正しい判断と行動において未来を与える必要があるのであり、大衆に阿るものではない。

これらは正しい国家と社会の在り方であり、政治からそれを始めることができるのである。

これは個人から未来が始まることができるということであり、自己は世界に対してその模範として自己行い、世界を与えることができるのである。

これらは政治における正しいコンセンサスであり、これら正しい理解は正しい現実を与える基盤である。

これらは政治家は、必ず人々の模範として自己を求められるのである。それにおいて人々は政治に従うことができるのである。

これらが王の正しい姿であり、正しい世界はそれにおいて与えられるのである。

これら基盤が知的進歩性を有し、その現実の進歩を実現できるのである。これらが政治が有する可能性なのである。

これら正しい政治姿勢は、必ず現実を与えることができるのである。